

令和6年度(2024年度)地域政策学部地域政策学科地域経済経営コース
学校推薦型選抜(一般推薦) 総合問題 模範解答

第1問

問1

- (1) 年：1960年
増加率：12.1%
- (2) 1960年：18.9%
2000年：26.3%
- (3) <採点基準>
- ・1970-80年は自然増加、2005-10年は社会増加が主要因であることに言及できているか。
 - ・2005-10年において自然増加率の寄与度が極めて小さいことに言及できているか。
 - ・字数が短すぎないか。
- (4) <採点基準>
- ・自然減少や社会増加の状態について説明できているか。
 - ・東京圏の人口への自然増減のマイナスの影響よりも社会増減のプラスの影響の方が大きいことに言及できているか。
 - ・字数が短すぎないか。

問2

- (1) ア：概(ね) イ：低廉 ウ：充(て)※当(て)も可 エ：次第 オ：選択肢
- (2) <採点基準>
- ・地方圏への住み替えが通勤時間を短縮することに言及できているか。
 - ・短縮された通勤時間の仕事などへの有効活用によって経済的利益が得られることに言及できているか。
 - ・字数が短すぎないか。
- (3) <採点基準>
- ・ICTの利用に言及できているか。
 - ・柔軟な働き方が可能になることに言及できているか。
- (4) <採点基準>
- ・物価効果に触れているか。
 - ・東京都よりも地方圏の方が、財やサービスの価格が安いことに言及できているか。
 - ・東京都よりも地方圏の方が、住居費が安価であることに言及できているか。
 - ・字数が短すぎないか。

第2問

問1

(1) 増減率：－7.6%

(2) 倍率 (A)：9.1

(3) <採点基準>

- ・勤務先の休廃業・解散により職がなくなることについて触れているか。
- ・転職・離職など職がなくなることへの対応について触れているか。

(4) ① × ② × ③ ○ ④ ○

(5) <採点基準>

- ・倒産件数が大幅に減少したことに触れているか。
- ・その要因としてコロナ禍に対応した資金繰り支援であることに触れているか。
- ・政府や金融機関が資金繰り支援の担い手であることに触れているか。

(6) <採点基準>

- ・休廃業・解散企業の代表者平均年齢が上昇傾向にあることに触れているか。
- ・休廃業・解散企業の代表者平均年齢の水準が70歳近くと高いことに触れているか。
- ・後継者難・事業承継が進んでいない企業割合の高まりに触れているか。
- ・同じ者が継続的に代表者を務めていることに触れているか。
- ・代表者の高齢化が進んでいることに触れているか。
- ・データの推移から矛盾なく特徴を推測できているか。

問2

(1) ア 介護 イ 必須 ウ 進捗 エ 有限 オ 創造

(2) <採点基準>

- ・本文を踏まえた課題が1つ設定されているか。
(例) 公的部門から民間需要中心へと転換
県外の外貨を獲得できる産業の振興
県内企業の付加価値向上・競争力強化 (など地域産業の基盤強化)
ものづくり産業とソフト系 IT 産業の発展
(より多くの人々が) 県内で働きたいと思える取組みの推進
(AI や IoT の導入など) 人手に頼らないシステムやサービスの普及
人的資源を機械 (やロボット) で代替できない業務へと集中
- ・設定した課題に対応した政策が記載されているか。
- ・政策の内容が計画本文の抜き書きだけでなく、そこに具体的な解答者のアイデアが記載されているか。
- ・字数が短すぎないか。